

第36回 皮膚脈管膠原病研究会

プログラム・抄録集

会 長：片山 一朗
会 期：平成 25 年 1 月 25 日（金）・26 日（土）
会 場：千里ライフサイエンスセンター

〒565-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2
TEL：06-6873-2010

事務局：大阪大学医学部皮膚科学教室
事務局長：山岡 俊文（担当：二上）
〒565-0871 吹田市山田丘 2-2
TEL：06-6879-3034 FAX：06-6879-3039

E-mail：vc36@derma.med.osaka-u.ac.jp
URL：http://derma.med.osaka-u.ac.jp/vc36/

第36回皮膚脈管膠原病研究会を2013年1月25日（金）～26日（土）の2日間、大阪千里ライフサイエンスセンターにて開催いたします。本研究会を担当させていただきますことを大変光栄に思い、今までの伝統に相応しい充実した会にすべく教室員一同鋭意準備を進めて行きたいと考えております。

本研究会は我々にとっては二世代以上前になる西山茂夫先生（北里大学名誉教授）、植木宏明先生（川崎医大名誉教授）、坂本邦樹先生（奈良医大名誉教授）など錚々たる先生達を中心になって設立された会で、奇しくも私が医者になっ

た年に第一回が開催されました。80年代当時は膠原病のみならず血管腫や腫瘍などの演題も多く出題され、多くの高名な先生方が熱い議論をされていたのが若い私にとり刺激的でまた診療や研究意欲を大いに高めてくれました。この会はスライド一枚で問題点を呈示し、十分な議論を行うことがポリシーであり、最盛期には夜10時を過ぎても会が終了せず、会長の先生がやきもきする姿を今も懐かしく思い出します。

昨今インターネットの普及により多くの情報を瞬時に手に入れることが可能な時代になり、また画像診断なども普及してきましたが、やはり臨床の現場の最前線で患者を診る医者が本音で病気の成り立ちや治療を討論することが若い先生方にはなによりの勉強になるかと思います。大学院改革や初期研修制度の導入前後のある時期、世代交代と重なり、一時的にこの会もやや勢いを失いつつありましたが、ここ2～3年は若い世代の参加が徐々に増加し、熱い議論で会場が盛り上がることも増えてきました。臓器別診療が主流の現在、患者の皮膚から得られる情報を治療にフィードバックできる皮膚科医の存在価値は益々重要になってきます。是非若い先生にはこの会に参加して、今膠原病、血管病変の診療に何が求められているかを肌で感じて頂き、討論の輪に積極的に参入して頂きたいと思います。他科の進歩や基礎医学の最新情報を聞けるセミナーも準備しておりますので、学生や初期研修医なども誘い合わせてのご参加をお待ちしております。

最後になりますが、学会会場の「千里ライフサイエンスセンター」は万博公園、国立民族学博物館にも近く、また地下鉄御堂筋線で大阪キタ、ミナミにもアクセスが良い所です。浪花の文化や食も心から楽しんで頂ければと願う次第です。



第36回皮膚脈管膠原病研究会

会長 片山 一郎

❖ 開催概要

■ 研究会名称 第 36 回 皮膚脈管膠原病研究会

■ 主 催 大阪大学医学部皮膚科学教室

■ 会 長 片山 一郎（大阪大学医学部皮膚科 教授）

■ 会 期 平成 25 年 1 月 25 日（金）～ 26 日（土）

■ 会 場 千里ライフサイエンスセンター 5 階

〒565-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

TEL : 06-6873-2010

URL : <http://www.senrilc.co.jp/>

■ 事 務 局 大阪大学医学部皮膚科学教室
事務局長：山岡 俊文（担当：二上）

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2

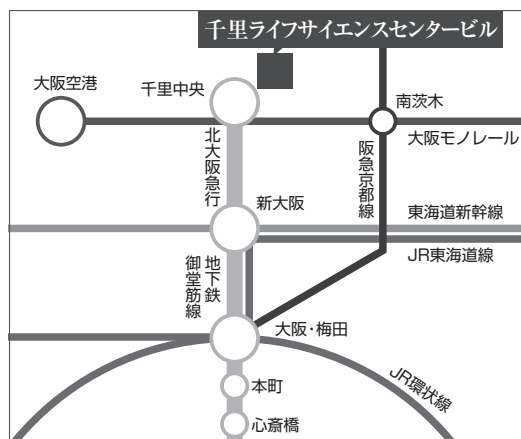
TEL : 06-6879-3034 FAX : 06-6879-3039

E-mail : vc36@derma.med.osaka-u.ac.jp

URL : <http://derma.med.osaka-u.ac.jp/vc36/>

❖ 会場のご案内

交通案内



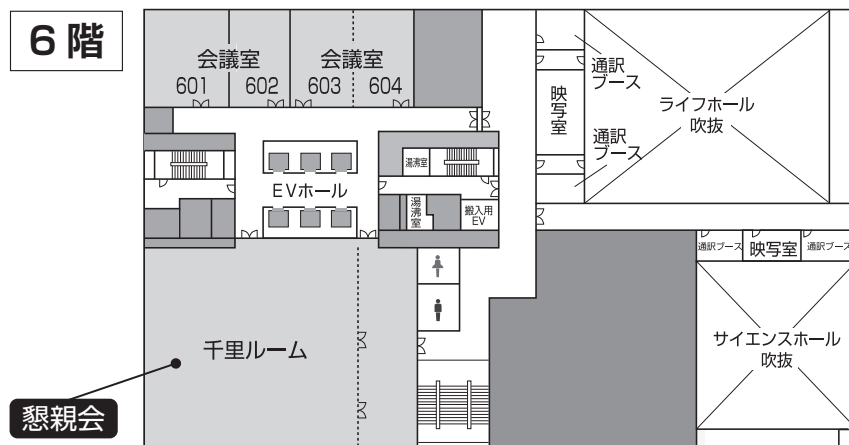
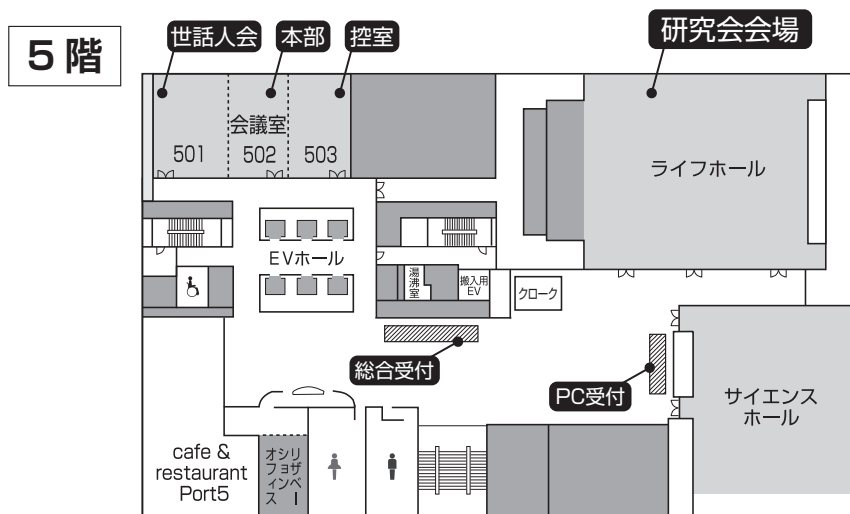
千里ライフサイエンスセンタービル

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

TEL : 06-6873-2010

- 地下鉄（北大阪急行電鉄）
御堂筋線 千里中央行終点
「千里中央」駅下車（北出口すぐ）
- 伊丹空港からお越しの方
大阪モノレール 門真市行
「千里中央」駅下車（徒歩約 5 分）
- 関西空港からお越しの方
(1) JR
「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「千里中央」行にお乗り換えください。
(2) 南海電気鉄道
「難波」駅から地下鉄御堂筋線「千里中央」行にお乗り換えください。

会場案内



❖ 参加者へのお知らせ

■ 総合受付

千里ライフサイエンスセンター 5 階

2013 年 1 月 25 日（金） 8：30～19：00

2013 年 1 月 26 日（土） 7：50～16：00

■ 参加登録

プログラムの表紙裏に添付の登録用紙に、ご所属とお名前をご記入の上、参加受付で登録し、参加費 5,000 円をお納め頂いたときに、ネームカード（領収書）をお渡しいたします。ネームカードには所属および氏名をご記入の上、会場内では常時ご着用ください。

■ 参加費

当日参加費 5,000 円

■ 抄録集

受付時にネームカードとともにお渡し致します。なお、事前に送られている方はご持参ください。追加で必要な場合は 1 部 1,000 円にて販売いたします。

■ 懇親会

2013 年 1 月 25 日（金） 19：00～21：00

千里ライフサイエンスセンター 6 階 千里ルームにてお食事をご用意いたしております。どうぞご歓談のひと時をお楽しみください。また、会場内では必ずネームカードをご着用ください。但し、演題の進行によって開始時間などは前後します。

■ ドリンクサービス

会期中、お飲み物をご用意しております。ご自由にご利用ください。

■ クローク

千里ライフサイエンスセンター 5 階に設置いたします。

貴重品はお預かりできかねますが、それ以外のお荷物はご遠慮なくお預けください。

■ 本部

千里ライフサイエンスセンター 5 階 502 会議室

■ 世話人会

1 月 26 日 7：30～8：00

千里ライフサイエンスセンター 501 会議室

※朝食をご用意いたします。

❖ 発表者へのお知らせ

■ 口述発表について

- ・講演はすべて PC プレゼンテーションによる発表のみとさせていただきます。
- ・お持込み頂けるメディアは USB メモリで念のため、CD-ROM または DVD-ROM へのバックアップもお願いいたします。(作成された機材以外で要確認)
- ・PC 持込みによる発表については原則お受け出来ません。
- ・会場にご用意する PC は Let' Note CF-S9 Windows7 です。

■ 作成要項

- ・使用するアプリケーションは Windows 版 Power Point2010 です。他のバージョンの Power Point で作成された方は予め Power Point2010 にて動作状況をご確認ください。
- ・Macintosh で作成されたファイルは事前に Windows Power Point2010 での動作確認を行いデータをお持ち込みいただきますようお願いいたします。
- ・動画ファイルを含む場合は念のため、素材動画データも必ずご持参ください。
- ・発表データのファイル名は、演題番号(半角 2 バイト)+筆頭発表者苗字(漢字)+拡張子として保存して下さい。

※例) 演題番号: 3 番, 氏名: 脈管 太郎なら **03脈管.pptx** (PP2003 以前は ppt) となります。
(演題番号は並べ替えの为一桁の場合は先頭に "0"〔ゼロ〕をお付け下さい)

■ 発表の口演時間について

- ・PC 受付は、発表の 30 分前までに受付をお済ませ下さい。
 - ・一般演題の発表は 5 分、質疑応答 5 分
- ※ 1 分前に黄色ランプ、終了時に赤ランプでお知らせします。学会の進行上、時間厳守をお願いします。
前の発表が始まりましたら、次演者席にすみやかにご着席ください。

■ 座長の先生へのお願い

- 1) 前のセッションの間に、次座長席にご着席ください。
- 2) 特にアナウンスによる進行は行いません。時間となりましたら開始願います。恐れ入りますが、与えられた時間を厳守して頂き、スムーズな進行にご協力ください。

■ 皮膚科専門医の先生方へ

本会出席に対して、6 単位の後実績受講証が交付されます。

1 日目: 18 時、2 日目: 昼 12 時まで、受付でご記名の上、受講証をお受け取り下さい。

❖ 日程表

【第1日目】平成25年1月25日（金）

【第2日目】平成25年1月26日（土）

	5階 [ライフホール]		5階 [ライフホール]	5階 [501会議室]
				7:30~8:00 世話人会
8:00		8:00	8:10~8:55 モーニングセミナー 「潰瘍を伴う網状皮斑の病態：温度と末梢循環障害」 共催：サノフィ株式会社	
	8:50~9:00 開会式			
9:00	9:00~10:00 演題 1~6 座長 川名 誠司／陳 科榮	9:00	9:00~10:20 演題 41~48 座長 小寺 雅也／横関 博雄	
10:00	10:10~11:10 演題 7~12 座長 勝岡 憲生／川上 民裕	10:00	10:25~11:25 演題 49~54 座長 尹 浩信／永井 弥生	
11:00	11:20~12:20 演題 13~18 座長 岡本 祐之／藤本 亘	11:00	11:30~12:30 演題 55~60 座長 音山 和宣／沢田 泰之	
12:00	12:30~13:40 ランチョンセミナー1 「皮膚科医の治療を含めた血管炎へのアプローチ」 共催：旭化成ファーマ株式会社	12:00	12:30~13:40 ランチョンセミナー2 「炎症性腸疾患に合併する腸管外症状としての皮膚病変」 「炎症性腸疾患の診断と治療」 共催：田辺三菱製薬株式会社	
	13:40~15:00 演題 19~26 座長 衛藤 光／古川 福実		13:40~13:50 世話人会報告 13:50~14:50 演題 61~66 座長 土田 哲也／大槻マミ太郎	
14:00		14:00		
15:00	15:10~16:30 演題 27~33 座長 佐野 栄紀／瀬戸山 充	15:00	15:00~16:00 演題 67~72 座長 岩月 啓氏／清島真理子	
16:00		16:00	16:20~16:30 閉会式	
	16:40~17:50 演題 34~40 座長 浅田 秀夫／金蔵 拓郎			
17:00		17:00		
18:00	18:00~19:00 イブニングセミナー 「シェーグレン症候群とIgG4関連疾患～類似点と相違点～」 「ドライアイの診断と治療 update」 共催：大塚製薬株式会社	18:00		
19:00	19:00~21:00 懇親会 (6階 千里ルーム)	19:00		
20:00		20:00		
21:00		21:00		

❖ プログラム 【第 1 日目】 1 月 25 日 (金)

開会式 8:50~9:00

■ 9:00~10:00

座長 川名 誠司 (日本医科大学)
陳 科榮 (済生会中央病院)

- 1 再発性皮膚好酸球性血管炎の 1 例
安藤 高志 (愛知医科大学)
- 2 急速進行性球体腎炎を伴った Churg Strauss 症候群の 1 例
鷺崎久美子 (東邦大学 (大森))
- 3 著明な頭蓋骨病変、鎖骨病変を伴った SAPHO (Synovitis, Acne, Pustulosis, Hyperostosis, Osteitis) 症候群の 1 例
田中 紅 (藤田保健衛生大学)
- 4 Churg-Strauss 症候群の 2 例
高橋 京子 (済生会中央病院) ※演者の変更があります 発表者=本多 皓(済生会中央病院)
2013年1月22日変更
- 5 顕著な粘膜症状を併発した持久性隆起性紅斑の 1 例
周東 朋子 (群馬大学)
- 6 全身性強皮症、シェーグレン症候群の経過観察中に出現した慢性再発性紫斑 (leukocytoclastic vasculitis) の 1 例
藤田 悦子 (自治医科大学)

■ 10:10~11:10

座長 勝岡 憲生 (北里大学)
川上 民裕 (聖マリアンナ医科大学)

- 7 集学的治療を行ったクリオグロブリン血症による難治性下腿潰瘍の 1 例
松本 考平 (大阪厚生年金病院)
- 8 皮膚病変から診断に至った Wegener 肉芽腫症の 1 例
林 圭 (旭川医科大学)
- 9 強い瘙痒とケブネル現象を伴った Henoch-Schönlein Purpura (HSP) の 1 例
～当科経験例の検討も含め～
齊藤 典充 (北里大学)
- 10 ベーチェット病患者の手指にみられた leukocytoclastic vasculitis
加藤 保信 (福島県立医科大学)
- 11 Wegener 肉芽腫症の 1 例
金子 綾 (日本医科大学)
- 12 側頭動脈炎を疑った angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia (ALHE) の 1 例
山本 淳子 (都立墨東病院)

【第 1 日目】 1 月 25 日（金）

■ 11:20~12:20

座長 岡本 祐之（関西医科大学）
藤本 亘（川崎医科大学）

- 13 サルコイドーシス患者に生じた血管炎の 1 例
藤山 俊晴（浜松医科大学）
- 14 ミノサイクリンによる薬剤性血管炎の 1 例
小松 成綱（旭川医科大学）
- 15 下腿潰瘍の治療に難渋した皮膚型結節性多発動脈炎の一例
石川 翔子（埼玉医科大学）
- 16 リベド血管症の組織像も伴った皮膚型結節性多発動脈炎の 2 例
五十嵐麻貴（東京女子医科大学）
- 17 マヨッキー紫斑様皮疹を呈した livedo vasculopathy と考えた 2 例
岸上 景子（神戸大学）
- 18 感冒様症状後に両下腿に硬結と潰瘍が多発し、皮膚全層性に動静脈炎を呈した 1 例
森本 亜里（慶應大学）

■ 12:30~13:40 ランチョンセミナー 1 【共催：旭化成ファーマ株式会社】

座長 片山 一郎（大阪大学皮膚科）

『皮膚科医の治療を含めた血管炎へのアプローチ』
川上 民裕（聖マリアンナ医科大学皮膚科 准教授）

■ 13:40~15:00

座長 衛藤 光（聖路加国際病院）
古川 福実（和歌山県立医科大学）

- 19 難治性潰瘍を生じた深在性エリトマトーデス
中村 貴之（筑波大学）
- 20 経過中膠原線維アタック型反応を有する紅斑を生じた SLE の 1 例
加納 宏行（岐阜大学）
- 21 アダリムマブによる薬剤誘発性エリテマトーデスの 1 例
青山 久美（群馬大学）
- 22 露光部の DLE 皮疹を契機に診断できた SLE の男性 2 例
青木奈津子（高知大学）
- 23 亜急性皮膚エリテマトーデス（subacute cutaneous lupus erythematosus）
の 1 例
江藤 宏光（北里大学）
- 24 水疱性エリテマトーデスの 1 例
片山智恵子（北里大学）

❖ プログラム 【第 1 日目】 1 月 25 日（金）

- 25 生物学的製剤投与中に抗 dsDNA 抗体の変動がみられた 3 症例の臨床的検討
糸井 沙織（大阪大学）
- 26 全身性エリテマトーデスを疑われ、当科に紹介された HIV 感染症の 1 例
山岡 俊文（大阪大学）

■ 15 : 10~16 : 30

座長 佐野 栄紀（高知大学）
瀬戸山 充（宮崎大学）

- 27 好酸球性筋膜炎の 1 例
室井 栄治（宮崎大学）
- 28 皮膚筋炎患者にみられた acquired reactive perforating collagenosis の 2 例
菊池 信之（福島県立医科大学）
- 29 全身の有痛性紅斑と高熱を繰り返し診断に苦慮した 1 例
山口 明彦（滋賀医科大学）
- 30 Palisaded neutrophilic granulomatous dermatitis (PNGD) の病理組織像を呈し、指、肘頭、膝蓋に結節を認めた男児例
林 隆洋（東京女子医科大学）
- 31 皮膚血管病変を伴う原発性 Sjogren 症候群 6 症例における血中抗リン脂質抗体の検討
木村 聡子（聖マリアンナ医科大学）
- 32 膠原線維アタック反応と考えた 2 症例
加藤 保信（福島県立医科大学）
- 33 久留米大学皮膚科において過去 27 年間に経験した脈管肉腫 24 例
丸田 康夫（久留米大学）

■ 16 : 40~17 : 50

座長 浅田 秀夫（奈良県立医科大学）
金蔵 拓郎（鹿児島大学）

- 34 TNF- α 阻害薬が著効した高齢発症の関節症性乾癬の 1 例
守田亜希子（横浜市立大学附属市民総合医療センター）
- 35 片側大量胸水を合併した抗リン脂質抗体症候群の 1 例
三田村康貴（九州大学）
- 36 乳房に生じた lymphangiosarcoma の 1 例
吉福明日香（鹿児島大学）
- 37 食道癌を合併した皮膚筋炎の 1 例
松本 優香（奈良県立医科大学）
- 38 血管炎を伴った抗 PL-7 抗体陽性の皮膚筋炎の 1 例
植田 郁子（関西医科大学附属枚方病院）
- 39 水疱性皮膚筋炎 3 症例
牧野 麻貴（岡山大学）

【第 1 日目】 1 月 25 日（金）

- 40 経膈エコー及び造影 CT で診断に至らなかった卵巣癌を合併した皮膚筋炎の 1 例
山賀 康右（大阪大学）

■ 18:00～19:00 イブニングセミナー 【共催：大塚製薬株式会社】

座長 西岡 清（東京医科歯科大学皮膚科 名誉教授）

『シェーグレン症候群と IgG4 関連疾患～類似点と相違点～』

正木 康史（金沢医科大学 臨床准教授）

『ドライアイの診断と治療 update』

高 静花（大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学（眼科学） 助教）

懇親会 19:00～21:00 「千里ルーム」

❖ プログラム 【第2日目】 1月26日(土)

■ 7:30~8:00 世話人会 501 会議室

■ 8:10~8:55 モーニングセミナー 【共催：サノフィ株式会社】

座長 石川 治 (群馬大学皮膚科)

『潰瘍を伴う網状皮斑の病態：温度と末梢循環障害』

室田 浩之 (大阪大学皮膚科 講師)

■ 9:00~10:20

座長 小寺 雅也 (社会保険中京病院)

横関 博雄 (東京医科歯科大学)

- 41 治療寛解1年後に再燃した抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎の1例
斎藤 佑希 (金沢大学)
- 42 若年性皮膚筋炎の1例
松尾 梨沙 (旭川厚生病院)
- 43 タクロリムス、ミゾリビンの併用が有効であった深在性エリテマトーデスの1例
牧野 貴充 (熊本大学)
- 44 2年の経過の後、悪性腫瘍が同定された抗155/140kDa抗体陽性CADMの1例
稲葉 由季 (社会保険中京病院)
- 45 皮膚筋炎経過中に出現した右上腕筋膜炎
百瀬 葉子 (聖路加国際病院)
- 46 急速進行性間質性肺炎を伴ったCADM (Clinically amyopathic dermatomyositis) の1例
野老 翔雲 (都立墨東病院)
- 47 妊娠・出産を経験した抗CADM-140抗体陽性の皮膚筋炎の1例
田中 克典 (和歌山県立医科大学)
- 48 ジアフェニルスルホンにより顕在化した皮膚筋炎の1例
櫻井 愛香 (埼玉医科大学総合医療センター)

■ 10:25~11:25

座長 尹 浩信 (熊本大学)

永井 弥生 (群馬大学)

- 49 皮膚潰瘍に対してVAC療法が奏功した全身性強皮症の2例
梶原 一亨 (熊本大学)
- 50 心筋炎を合併した全身性強皮症の1例
浅井 幸 (長崎大学)
- 51 抗Th/To抗体陽性の2例
周 円 (岐阜大学)

【第2日目】 1月26日(土)

- 52 腎クリーゼを発症した抗 RNA ポリメラーゼ抗体陽性全身性強皮症の2例
斎藤 佑希 (金沢大学)
- 53 全身性強皮症・クラインフェルター症候群併発患者に生じた難治性下腿潰瘍の1例
栗山 裕子 (群馬大学)
- 54 抗セントロメア抗体陽性患者13例における凍瘡などの検討
角田 孝彦 (山形市立病院済生館)

■ 11:30~12:30

座長 音山 和宣 (音山医院)
沢田 泰之 (都立墨東病院)

- 55 抗 Ku 抗体陽性全身性強皮症の1例
高橋 岳浩 (東京大学)
- 56 単純性血管腫様症状で初発し、ダイレーザー治療後にモルフェアと診断した女児例
三浦 貴子 (福島県立医科大学)
- 57 シェーグレン症候群患者に見られた剣創状強皮症と背部のモルフェアの併発例
三浦 貴子 (福島県立医科大学)
- 58 過去の持続的機械的刺激が原因と考えられた汎発性モルヘアの1例
白井 成鎬 (兵庫県立加古川医療センター)
- 59 肉芽腫反応を伴ったモルフェアの1例
菊池 信之 (福島医科大学)
- 60 手指の皮膚硬化を認めた Monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS) を伴ったサルコイドーシスの1例
多田 浩一 (鹿児島大学)

■ 12:30~13:40 ランチョンセミナー2 【共催：田辺三菱製薬株式会社】

座長 佐藤 伸一 (東京大学皮膚科)

- 2-1 『炎症性腸疾患に合併する腸管外症状としての皮膚病変』
山本 俊幸 (福島県立医科大学皮膚科 教授)
- 2-2 『炎症性腸疾患の診断と治療』
伊藤 裕章 (錦秀会インフュージョンクリニック 院長)

■ 13:40~13:50 世話人会報告 ライフホール

❖ プログラム 【第2日目】 1月26日(土)

■ 13:50~14:50

座長 土田 哲也(埼玉医科大学)
大槻マミ太郎(自治医科大学)

- 61 タキサン系薬剤による皮膚硬化の2例
武田浩一郎(鹿児島大学)
- 62 関節症性乾癬から移行した全身性強皮症の1例
井上 知子(大阪大学)
- 63 TNF α 阻害薬投与中に抗 dsDNA 抗体上昇と補体低下を生じた関節リウマチ合併強皮症の1例
藤井ひかり(東京厚生年金病院)
- 64 深在性エリテマトーデスと深在性モルフェアの合併と考えた1例
小林 信彦(奈良県立医科大学)
- 65 サウナで意識障害に陥り、広範囲熱傷、DIC、肝機能障害を生じた1例
勝野 正子(国際医療福祉大学熱海病院)
- 66 下腿潰瘍を契機に診断され、経過中に壊疽を生じたシェーグレン症候群の1例
小池 雅人(獨協医科大学)

■ 15:00~16:00

座長 岩月 啓氏(岡山大学)
清島眞理子(岐阜大学)

- 67 リベドを呈し、血管周囲性に肉芽腫を認めたサルコイドーシスの1例
芝間さやか(東京医科歯科大学)
- 68 自己炎症性疾患が疑われた1例
矢嶋 萌(京都大学)
- 69 末梢動脈病変に対する血管内治療およびバイパス術施行後の再狭窄・再閉塞における膠原病因子の関連について
佐々木祥人(兵庫県立加古川医療センター)
- 70 紅皮症を呈した成人 Still 病の1例
山下 真未(滋賀医科大学)
- 71 ステロイド漸減中に GVH 様皮膚反応を認めた成人 Still 病の1例
—免疫再構築症候群の可能性についての検討—
花房 崇明(大阪大学)
- 72 難治性の下腿潰瘍から診断に至った関節リウマチの1例
金岡 美和(横浜市立大学)

閉会式 16:20~16:30
